

宮木宥弑 みやぎ じゆうき 僧侶、教科書蒐集家。明治元年十一月二十一日下總國船橋生れ、昭和二十八年一月十日歿（八六一―九五三）。明治二十五年壽徳寺住職となり、老齢で退任する昭和二十七年まで六十年間住職。豫みやぎて教育の關心を有もち、往來物、明治時代の小学校教科書等を精力的に蒐め、口明治時代小學校教育書目録口（昭和七年九月十三日、第二卷・九年九月二十一日、第三卷・十年八月二十一日自刊）、口宮木文庫總目録口（昭和十年八月二十一日自刊）を作成した。またその藏書と、千葉縣圖書館の五千七百餘冊、東京文理科大學の約六千冊寄贈。一方自ら漆塗りを實踐、口寶地口（寶地）口経験漆の栽培法口（昭和八年刊）を著した。三十三回忌に當つて出版せられた、口宮木宥弑僧正文集口（新井慧譽編、昭和六十年一月十日壽徳寺「壽徳寺文庫」）の、乙竹岩造の一文、口宮木文庫の成り立ち口を附載。

